

ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を 奈良県大和郡山市に提供し、健康増進を支援



株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：南場智子、以下DeNA）のグループでヘルスケア事業を展開する株式会社データホライゾン（本社：広島県広島市、代表取締役社長：瀬川翔、以下データホライゾン）は、奈良県大和郡山市の委託を受け、同市内の国民健康保険に加入する満20歳以上（令和7年3月31日現在）の方を対象に、「楽しみながら、健康に。」を実現するDeNAが開発したヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」※を提供します。

大和郡山市は、2024年3月に策定した「大和郡山市国民健康保険 第3期データヘルス計画」（2024年度～2029年度）において、生活習慣病の発症予防・重症化予防による健康寿命の延伸と医療費の適正化を目標に掲げ、特定健康診査の実施率を60%へ引き上げることを目指しています。現状、同市の実施率は33.5%（2022年度）にとどまり、生活習慣病を早期に発見する機会が不足していることに加え、メタボリックシンドローム該当者の割合が21.1%（同）と奈良県平均の18.6%を上回っていることが課題となっています。同市は「kencom」を活用した歩数や健診結果等のパーソナルヘルスレコード（PHR）の管理・可視化等を通じて、対象者の運動習慣の定着や生活習慣の改善を促進することで、受診率の向上、医療費の適正化に取り組めます。

「kencom」は2015年のサービス開始以来、健康保険組合、健診医療機関、地方公共団体、生命保険会社など1

27団体、約840万人への提供実績があり、ユーザーの健康意識の高さにかかわらず健康増進をサポートするアプリとして評価されています。

当社グループは今後も、「kencom」を活用した生活習慣病予防に取り組む保険者の拡大を積極的に進めてまいります。当社グループのヘルスケア事業が持つ知見や技術を最大限に活用し、生活者の健康寿命の延伸と医療費の適正化に引き続き貢献していきます。

※kencomはDeSCヘルスケアの登録商標です。



■ kencomの主な機能

1. 健康活動のきっかけ作り

取得データの経年変化や同性同年代との比較等、被保険者の健康状態を分かりやすく表示し、スマホで閲覧可能。また将来の健康状態を予測する「ひさやま元気予報」で健診結果に基づいた生活習慣病の発症リスクを可視化。

2. 意識を変容する

ユーザーの健康状態・趣味嗜好に合わせた記事を表示。記事を読覧することで、健康に対する意識を変える。

3. 行動を変容する

年に2回（春/秋）開催するオンラインウォーキングイベント「みんなで歩活」で歩くきっかけをつくる。

4. 行動を継続する

ミッションの達成などで付与されるポイントを貯めることで、行動が継続できる。

5. 健康活動を楽しむ

健康活動をするとペットキャラクターとコミュニケーションができる、キャラクター育成機能「エアモ」で、健康活動を楽しく習慣化する。

6. ポイント交換

健康記録をスマホに登録等、日々アプリを使用することで貯まったポイントを大和郡山市内で使える商品券に交換できる。